

臨床研究に関する情報公開（研究要旨）

太田西ノ内病院では、下記の研究を実施しております。

番号	38
研究課題名	小児鈍的肝損傷および脾損傷の自然経過と診療パターンの検討:他施設後ろ向き観察研究
研究責任者 情報の管理について責任を有する者の氏名又は名称	救命救急センター センター長 篠原一彰
共同研究者 (利用する者の範囲)	救命救急センターセンター長 篠原一彰
研究目的 (試料・情報の利用目的及び利用方法)	1.小児の鈍的肝損傷および脾損傷の自然経過と診療パターンについて記述する。 2.小児の鈍的肝損傷および脾損傷において、各種治療法とアウトカムの関連について検討する。
他の研究機関への 情報提供の有無、 及び提供方法	④ 無 研究者等が調査により得られた情報を取り扱う際は、研究対象者の秘密保護に十分配慮し、特定の個人を識別することができないよう、臨床の検査で得られたデータを研究責任者が匿名化を行い使用します。本研究結果が公表される際も、研究対象者個人を特定できる情報は含まれません。データセンターへのデータの提供は、特定の関係者以外がアクセスできない状態で行います。
研究実施期間	2021/05/08～2024/08/31
研究対象者 及び対象期間	16歳以下の小児(入院時)で、鈍的外傷にて入院治療を受けたAAST OIS grade1以上の脾損傷および肝損傷の症例
利用する情報 (利用し、または提供する 試料・情報の項目)	<ul style="list-style-type: none"> ● 年齢、性別、生年月日、体重 ● 既往症 ● 来院時情報(バイタルサイン、意識レベル、外傷損傷重症度) ● 血液検査データ(赤血球、血小板、乳酸値、凝固能など) ● 画像データ(肝損傷・脾損傷の重症度、CT検査の種類、造影剤の血管外漏出所見、腹腔内出血量、仮性動脈瘤の有無など) ● 治療方法(保存的治療、血管造影治療、手術治療などの詳細) ● 転帰情報(仮性動脈瘤形成に関する情報、輸血治療の詳細、脾臓温存率、死亡の有無、入院期間、放射線被曝量、合併症など) ● その他
研究の資金源 (利益相反)	本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません
備考	